

平成18年2月13日

各位

会社名 ロート製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田邦雄
(東証・大証第1部 コード番号4527)
問合せ先 広報調査室長 湯浅総一郎
(TEL.06-6758-1211)

株主優待制度の変更に関するお知らせ (年2回実施に拡充・社会貢献活動への寄付制度創設)

当社は、平成18年3月末権利確定分より株主優待制度の見直しを実施いたしますので、お知らせいたします。詳細は以下のとおりでございます。

記

1. 変更の理由

当社は、株主の皆様にご満足いただきたいとの思いから、単元株(1,000株)以上の当社株式をご所有の株主様を対象に、自社製品詰合せセット数種類の中からご希望の優待品をひとつお選びいただくことができるという株主優待を実施させていただいております。この度、さらに株式投資の魅力を高め中長期的に当社の株式を保有していただけるように、年1回の実施としていました株主優待を年2回実施へと変更するとともに内容をさらに充実いたします。今後もロート製薬の株主優待は株主の皆様のご意見を伺いながら、新しいことに挑戦し続けてまいります。

2. 変更の内容

項目	現行	変更後
対象株主	3月末日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された1単元(1,000株)以上保有の株主様	3月末日及び9月末日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された1単元(1,000株)以上保有の株主様
優待内容	5,000円相当の自社商品のセット4コースから1コースを選択。	それぞれの基準日現在の株主様に対し、以下のとおり贈呈する。 5,000円相当の自社商品のセット3コースから1コースを選択。 5,000円を社会貢献活動団体等へ寄付。 どちらかを選択いただけます。 上記に加えて <input type="checkbox"/> 通販カタログ利用者は商品別に10%~25%引きで購入できる「ダイヤモンドステージ」を適用 (3月末株主:5月中旬~12月末、9月末株主:11月中旬~翌年6月)
贈呈時期	6月末頃	3月末株主:6月末頃 9月末株主:12月末頃

(注)優待内容及び社会貢献寄付先の詳細につきましては、5月中旬発送予定の株主様宛のご通知にてご案内させていただきます。

3. 変更開始時期

平成18年3月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された1単元(1,000株)以上保有の株主様より実施いたします。

以上

(ご参考)

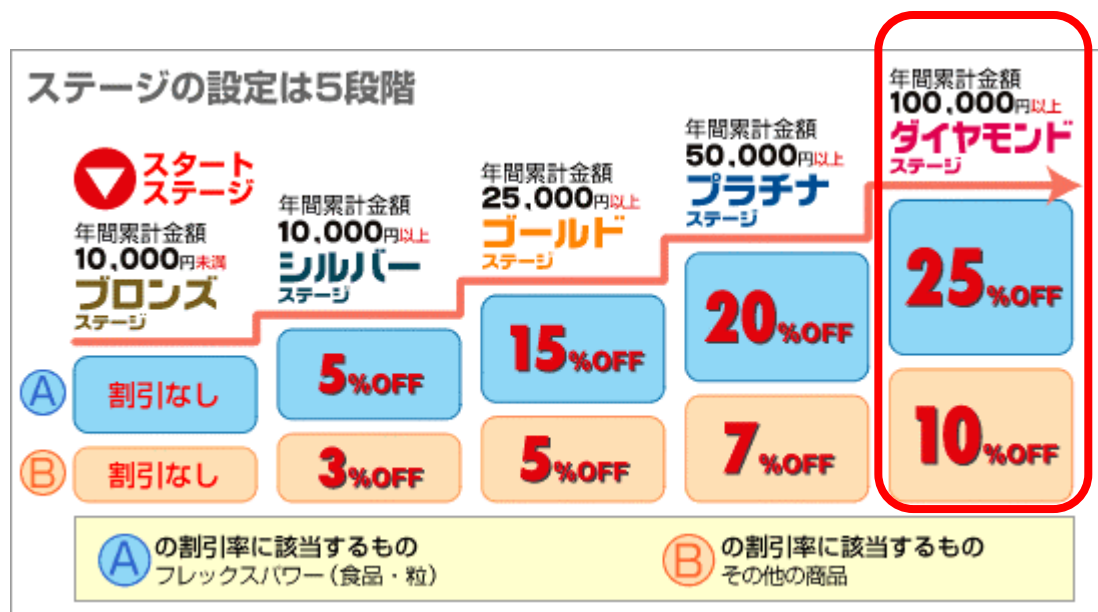
<ロート製薬通販商品 ステージ割引サービス>

ロート製薬通販商品を、さらにお求めやすい価格で提供させていただくシステムです。過去1年間のお買上累計金額に応じて、それぞれステージを設定。そのステージが上がっていく度に、通販商品の割引率がアップしていくサービスです。

株主様は株主優待としてダイヤモンドステージが適用されます。

株主様にお送りする『株主様専用ご注文ハガキ』でお申し込みください。このハガキ以外でのお申し込みは株主様ご本人であることが確認できませんので、電話・FAX・インターネットによるご注文はお受けできません。

1度取得されたステージは、その後1年間の間に1度でもロート製薬通販商品をご購入いただきますと(ご購入金額に関わらず)その時点より1年間維持されます。



(注) 『プロメディアル』『オバジ』シリーズ等、一部ステージ割引対象外の商品がございます。

(社会貢献活動への寄付を創設することについて)

<「^{オドロキ}驚喜の輪」を広げる当社の社会貢献活動>

当社は、決して大上段に構えるのではなく、「私達にできることから」という視点で、永続的かつ実践的な社会貢献活動に地道に取り組んでまいりました。

創始者である山田安民は、大正9年、私立奈良盲啞学校（現・奈良県立盲学校・同ろう学校）の設立に尽力し、昭和12年ヘレンケラー女史が来日した折に盲人教育に熱心な安民を訪ねています。また、2代目山田輝郎は、昭和39年のオリンピック東京大会で日本水泳陣が惨敗したのを嘆き、「水泳ニッポン」の復活を目指し、昭和40年に私財を投じて「山田スイミングクラブ」を設立。水泳を科学的に解明するという当時としては斬新的な発想で選手を育て昭和47年オリンピックミュンヘン大会で金メダル選手を輩出いたしました。昭和52年には個人財産30億円を拠出し、自然科学の基礎分野振興のために、山田科学振興財団を設立しました。これらの先代達が築いてきた社会貢献の歴史、想いは、今なお当社のDNAとして根づいております。今後もあらゆる分野において、さまざまな形で社会のお役に立てる活動を行っていきたくと考えております。

【現在の主な活動】

教育・科学技術・学術振興分野

ロートアワード

日本の眼科研究の発展・向上を願って1995年に設立。日本の大学および、それに準じる研究機関の若手眼科研究者を対象に、毎年すぐれた研究を行っている2名の研究者にプラーク(額)と副賞1名1件250万円を授与しています。

山田科学振興財団

社会貢献活動

はーとふる活動

献血、赤い羽根募金、チャリティーオークションによる収益金寄付、切手・テレカなどの収集による収益金寄付、身障者ウォークラリー支援など、社員が主体となり様々な取り組みを行っています。

かるがも基金

社員有志による積立基金に会社からも同額支援したものを原資とし、毎年社会に必要とされる福祉活動に役立てています。2004年は、社会福祉法人日本聴導犬協会にて聴導犬かるがも一号を、財団法人アイメイト協会にて盲導犬かるがも一号を育成中です。2005年度も同様に寄付を行う予定です。

ボランティア休業制度

文化・スポーツ振興活動分野

ガンバ大阪オフィシャルスポンサー

大阪メチャハッピー祭協賛

環境保全活動分野

本社に西日本最大規模を誇るソーラーシステムを設置

営業車にハイブリッド車採用

2006年12月には全営業車(北海道を除く)がハイブリッド車に変更予定。

上野工場にリサイクルセンター設置

クリーンアップキャンペーン

職場におけるゴミ分別収集・リサイクル活動

以上